

令和2(2020)年度第2回

かわさき市民アンケート概要版

調査の概要

調査設計等	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査対象 川崎市在住の満18歳以上の個人 ◆標本数 3,000 標本 ◆標本抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査方法 郵送調査 ◆調査期間 令和2(2020)年11月18日(水)～12月25日(金) ◆有効回収数 1,653標本 ◆有効回収率 55.1%
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 1 定住状況について 2 生活環境の評価について 3 関心ごとと行動範囲について 	<ul style="list-style-type: none"> 4 市政に対する評価と要望について 5 地球温暖化対策について 6 かわさきの農業について

※ 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。また、本文中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合や複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合がある。

調査回答者の属性

1 性別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 男性	720	43.6
2 女性	908	54.9
3 選べない・ 答えたくない	16	1.0
(無回答)	9	0.5
合計	1,653	100.0

2 居住区別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 川崎区	226	13.7
2 幸区	184	11.1
3 中原区	289	17.5
4 高津区	241	14.6
5 宮前区	264	16.0
6 多摩区	226	13.7
7 麻生区	214	12.9
(無回答)	9	0.5
合計	1,653	100.0

3 性/年代別

	全体		男性		女性		選べない・ 答えたくない		(無回答)	
	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)
1 18～19歳	24	1.5	10	1.4	13	1.4	1	6.3	0	0.0
2 20～29歳	179	10.8	69	9.6	108	11.9	2	12.5	0	0.0
3 30～39歳	287	17.4	123	17.1	162	17.8	2	12.5	0	0.0
4 40～49歳	345	20.9	140	19.4	204	22.5	1	6.3	0	0.0
5 50～59歳	299	18.1	132	18.3	164	18.1	3	18.8	0	0.0
6 60～69歳	257	15.5	135	18.8	119	13.1	3	18.8	0	0.0
7 70歳以上	243	14.7	108	15.0	134	14.8	1	6.3	0	0.0
(無回答)	19	1.1	3	0.4	4	0.4	3	18.8	9	100.0
合計	1,653	100.0	720	100.0	908	100.0	16	100.0	9	100.0

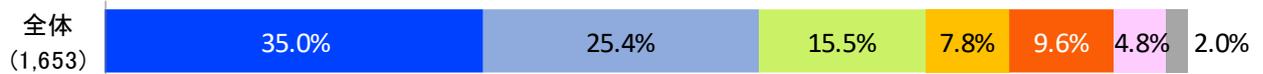
1 定住状況について

1 居住年数

あなたは、今のところにお住まいになって何年になりますか。

図1 居住年数

■ 20年以上 ■ 10～20年未満 ■ 5～10年未満 ■ 3～5年未満 ■ 1～3年未満 ■ 1年未満 ■ 無回答



居住年数「20年以上」は35.0%となっており、5年以上の居住者が7割を超えている。

2 定住意向

あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。

図2 定住意向

市内に住んでいたい

■ これからも住んでいたい ■ できれば市内の他の区へ移りたい ■ できれば市外へ移りたい ■ わからない ■ 無回答



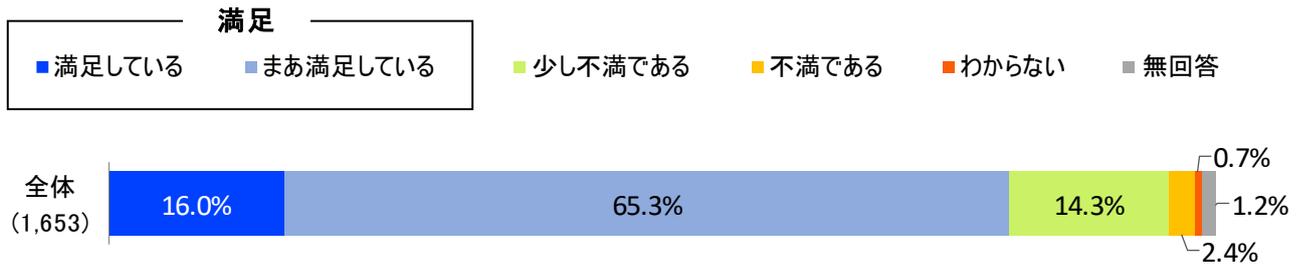
「これからも住んでいたい」(67.1%)と「できれば市内の他の区へ移りたい」(1.5%)を合計した【市内に住んでいたい】は68.6%であった。「できれば市外へ移りたい」は9.4%であった。

2 生活環境の評価について

1 総合的な生活環境の満足度

あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。

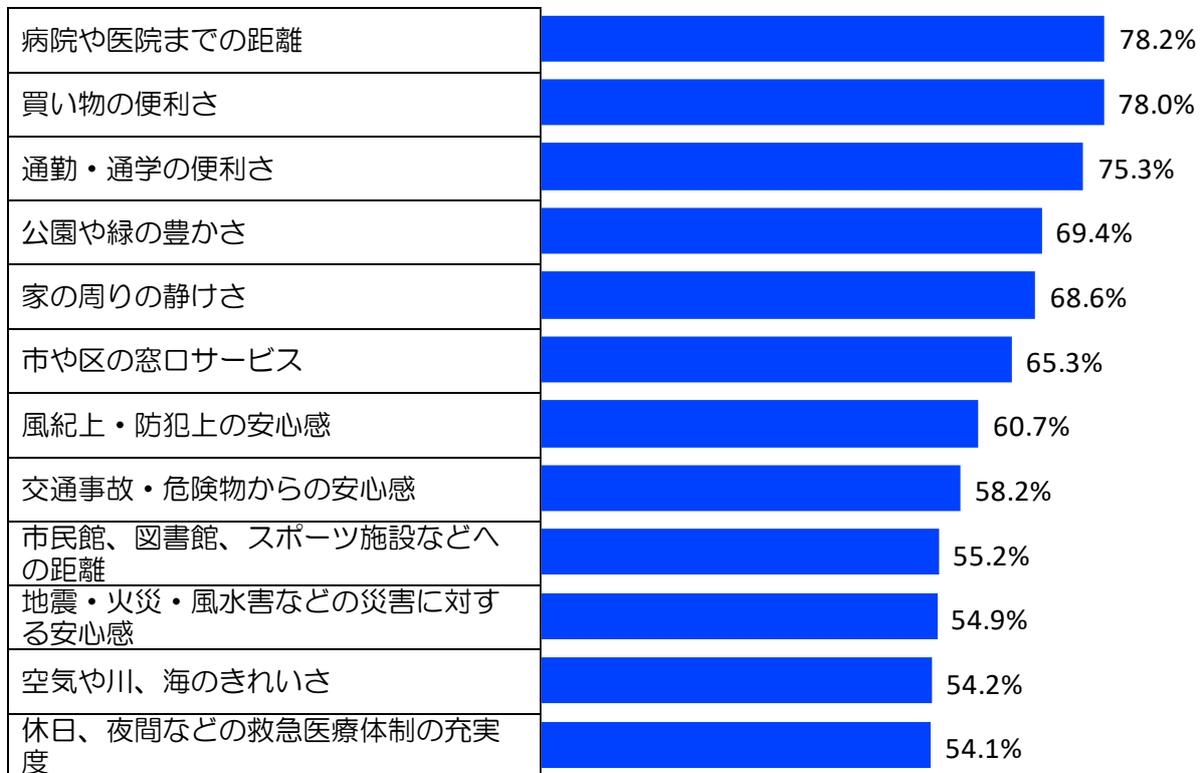
図3 総合的な生活環境の満足度



「満足している」(16.0%)と「まあ満足している」(65.3%)を合計した【満足】は、81.4%であった。

図4 生活環境の詳細についての満足度

(n=1,653)



お住まいの周りの生活環境の詳細について評価してもらったところ、「満足している」と「まあ満足している」を合計した【満足】は、「病院や医院までの距離」(78.2%)が最も多く、次いで「買い物の便利さ」(78.0%)、「通勤・通学の便利さ」(75.3%)と続いている。

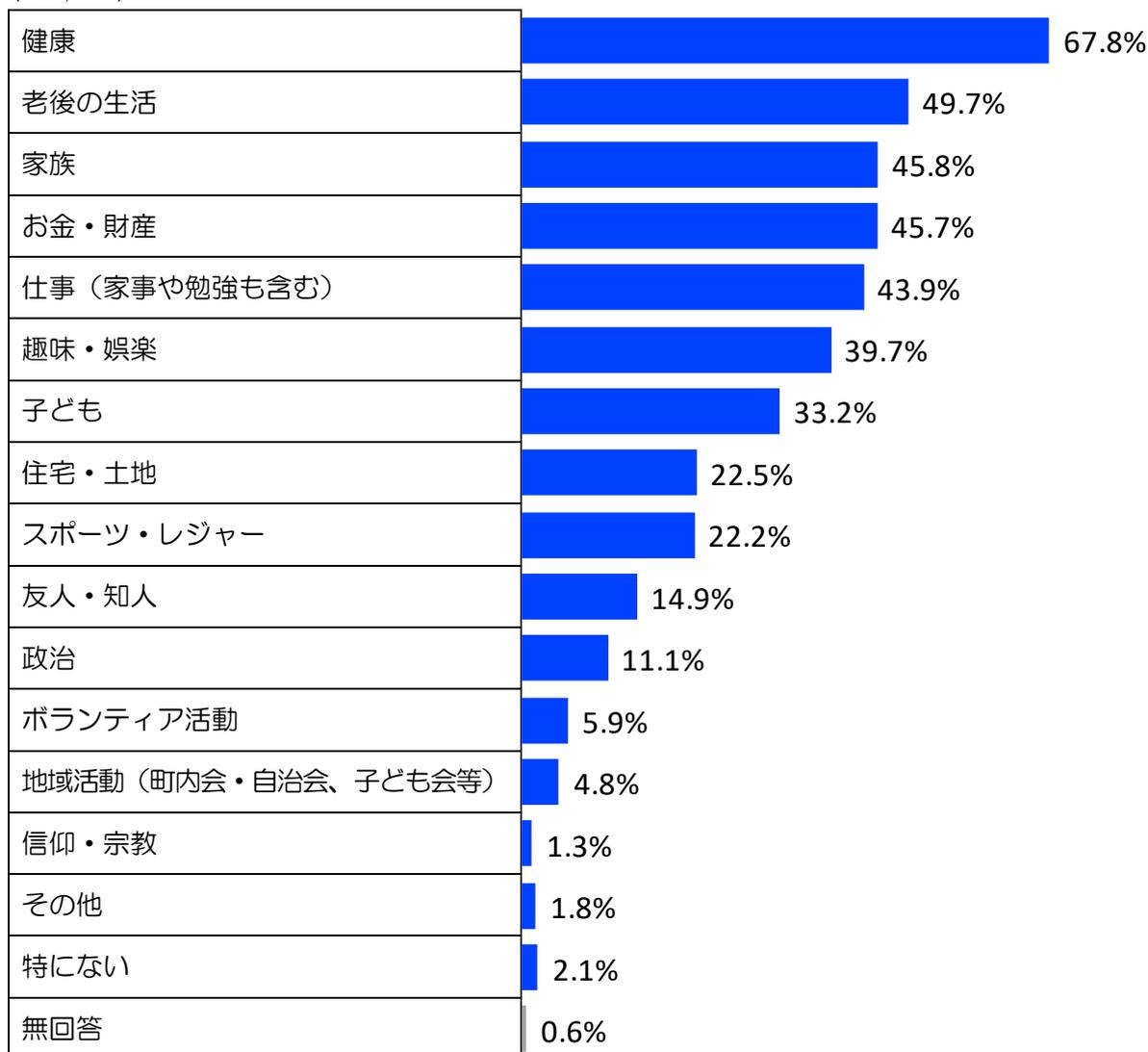
3 関心ごとと行動範囲について

1 関心を持っていること

あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。（複数回答）

図5 関心を持っていること（複数回答）

(n=1,653)



現在特に関心を持っていることを選んでもらったところ、「健康」(67.8%)が最も多く、次いで「老後の生活」(49.7%)、「家族」(45.8%)と続いている。

2 行楽・文化施設の利用・ショッピングの場所

あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。

(n=1,653)

(%)

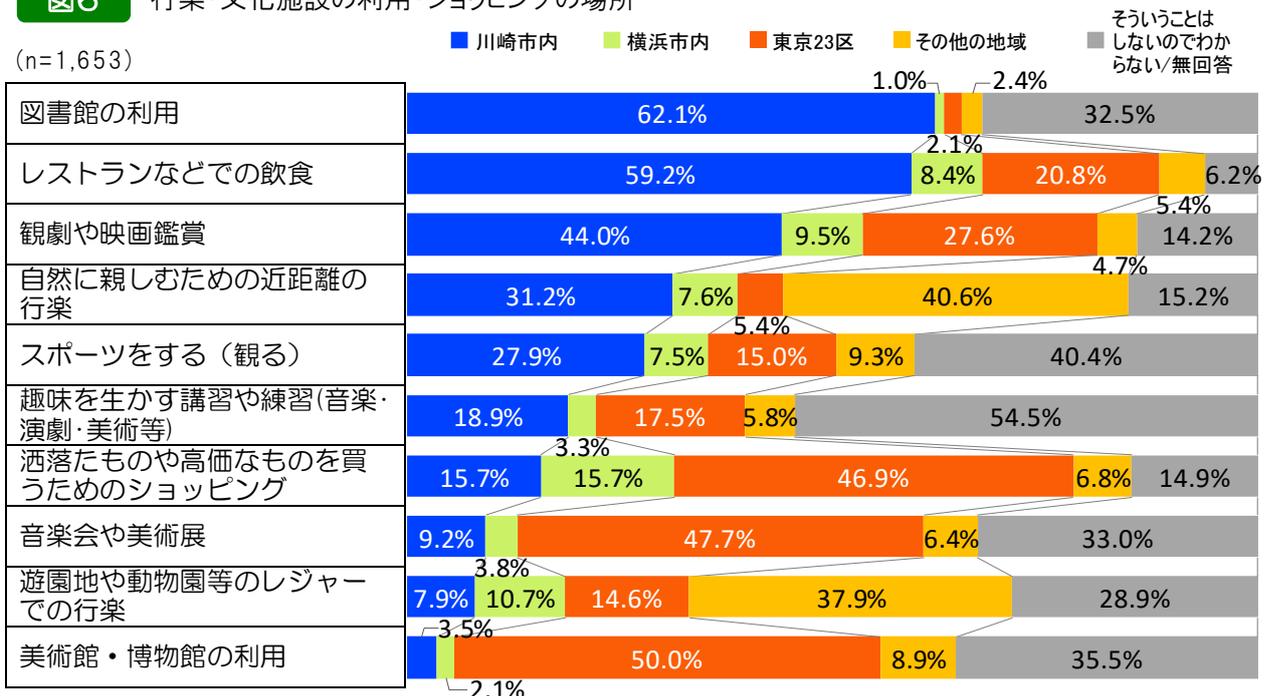
	川崎市内	横浜市内	川崎市・横浜市 以外の神奈川県	東京23区	その他の地域	わからないことは そのうち	無回答
図書館の利用	62.1	1.0	0.7	2.1	1.6	30.9	1.6
レストランなどでの飲食	59.2	8.4	1.9	20.8	3.5	4.4	1.8
観劇や映画鑑賞	44.0	9.5	2.3	27.6	2.4	12.0	2.2
自然に親しむための近距離の行楽	31.2	7.6	18.6	5.4	22.0	13.1	2.1
スポーツをする(観る)	27.9	7.5	2.2	15.0	7.0	38.7	1.6
趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)	18.9	3.3	2.2	17.5	3.6	52.8	1.7
洒落たものや高価なものを買うためのショッピング	15.7	15.7	2.2	46.9	4.7	13.1	1.8
音楽会や美術展	9.2	3.8	1.9	47.7	4.5	31.3	1.6
遊園地や動物園等のレジャーでの行楽	7.9	10.7	8.8	14.6	29.2	26.7	2.2
美術館・博物館の利用	3.5	2.1	2.1	50.0	6.8	33.3	2.2

『川崎市内』の利用率が最も多いのは「図書館の利用」(62.1%)で、次いで「レストランなどでの飲食」(59.2%)、「観劇や映画鑑賞」(44.0%)と続いている。

『川崎市内』以外で利用率が最も多いのは、『東京23区』の「美術館・博物館の利用」(50.0%)であり、次いで「音楽会や美術展」(47.7%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(46.9%)と続いている。

図6 行楽・文化施設の利用・ショッピングの場所

(n=1,653)



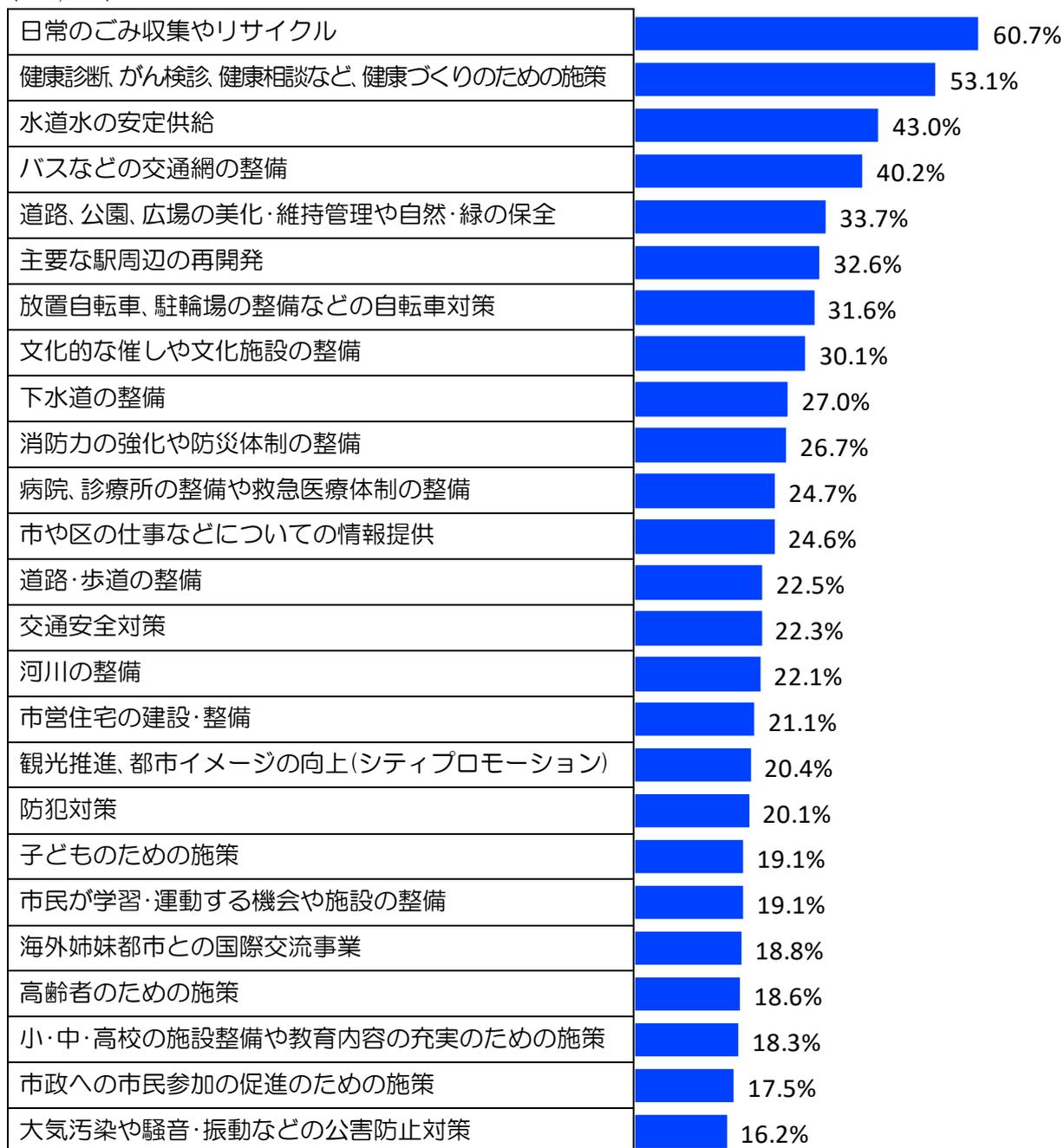
4 市政に対する評価と要望について

1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。（複数回答）

図7 市政の仕事でよくやっていると思うこと《上位 25 項目》（複数回答）

(n=1,653)



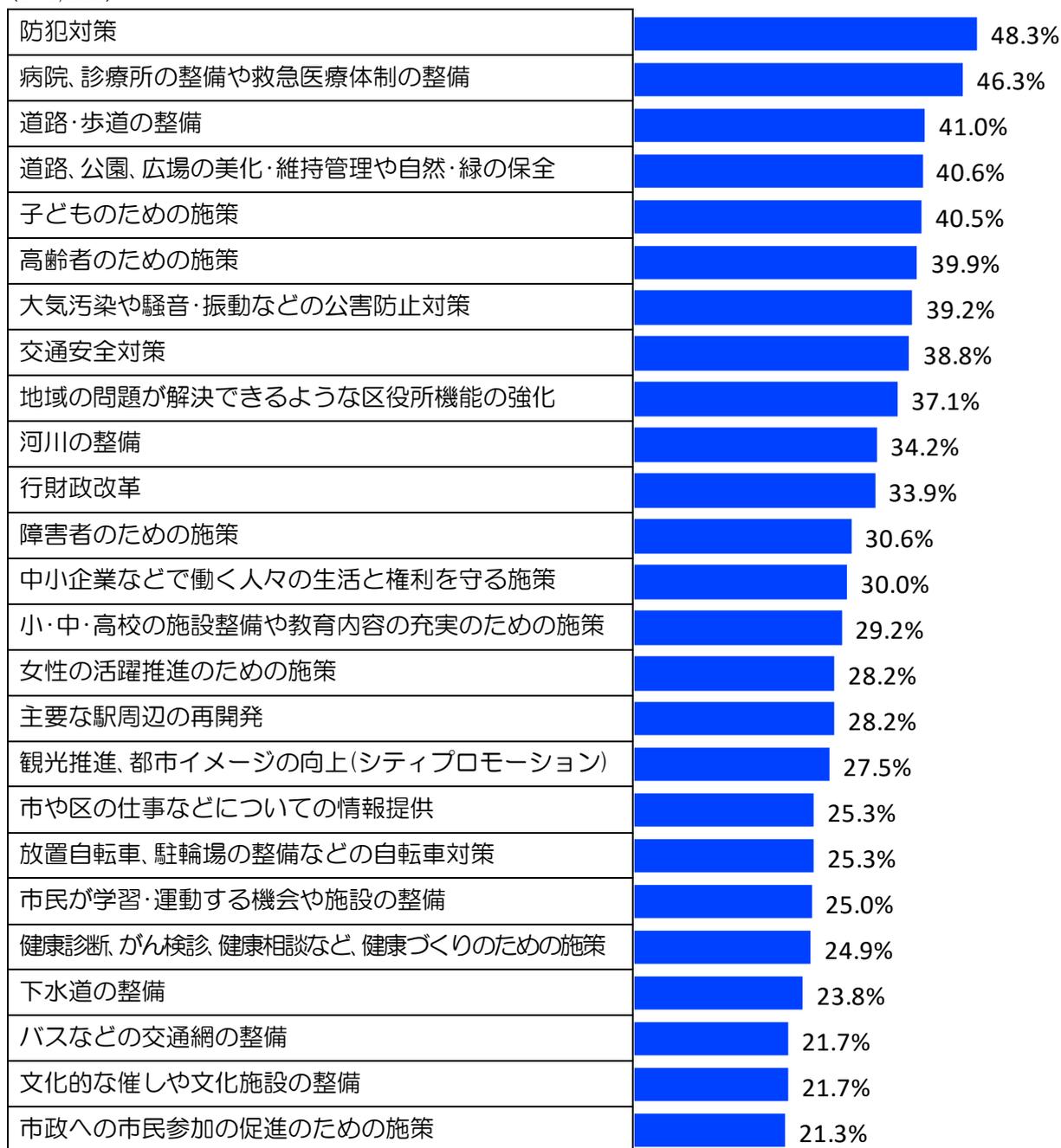
「日常のごみ収集やリサイクル」(60.7%)が最も多く、次いで「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」(53.1%)、「水道水の安定供給」(43.0%)と続いている。

2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

川崎市が行っている施策や事業の中で、今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。「よくやっている」と思われているものも含めてお考えください。
(複数回答)

図8 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと《上位 25 項目》(複数回答)

(n=1,653)



「防犯対策」(48.3%)が最も多く、次いで「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」(46.3%)、「道路・歩道の整備」(41.0%)と続いている。

5 地球温暖化対策について

1 地球温暖化の進行に対する危機感

昨今の地球温暖化の進行について、あなたは危機感を感じていますか。

図9 地球温暖化の進行に対する危機感

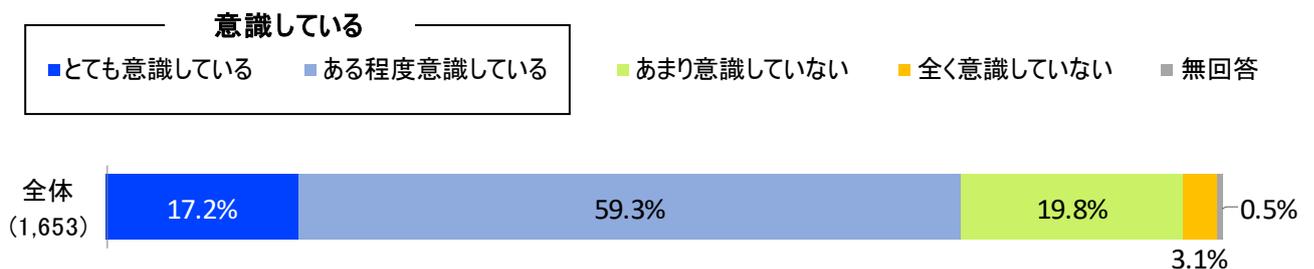


「とても感じる」(46.2%)と「ある程度感じる」(43.7%)を合計した【感じる】は89.8%であり、ほぼ9割の人が危機感を感じていると回答している。

2 地球温暖化対策を意識している程度

日常生活の中で、あなたは地球温暖化対策について意識していますか。

図10 地球温暖化対策を意識している程度



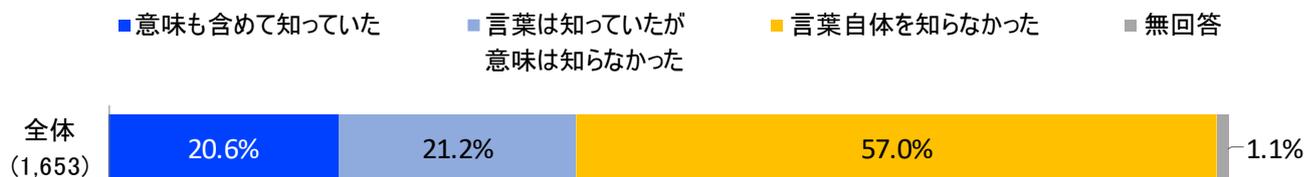
「とても意識している」(17.2%)と「ある程度意識している」(59.3%)を合計した【意識している】は76.5%であった。

3 気候変動の影響に対する「適応策」の認知状況

あなたは、気候変動の影響に対する「適応策」※ について知っていましたか。

※既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を軽減するための対策（災害時の備え、治水対策、熱中症対策など）のことを「適応策」といいます。

図 11 気候変動の影響に対する「適応策」の認知状況



「言葉自体を知らなかった」が 57.0%と最も多い。一方で、「意味も含めて知っていた」は 2 割程度であった。

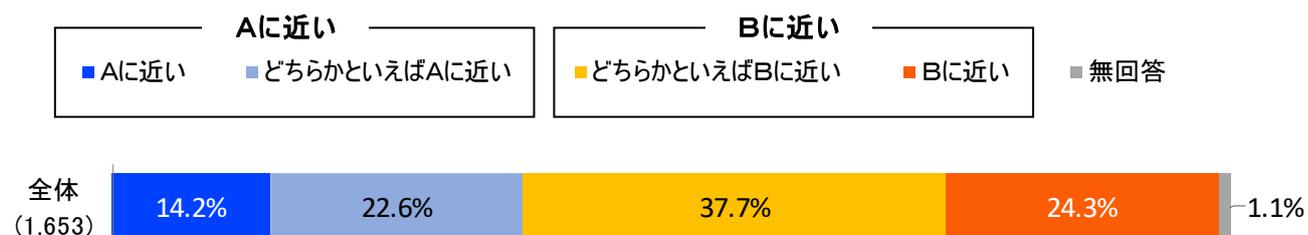
4 川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え

川崎市が取り組む地球温暖化対策について、A と B の考え方ではどちらの方があなたのお考えに近いと思われますか。

A: 経済的な負担(税金、電気料金、ガス料金など)が多少大きくなっても対策を講じていくべき

B: 経済的な負担が変わらない範囲で対策を講じるべき

図 12 川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え



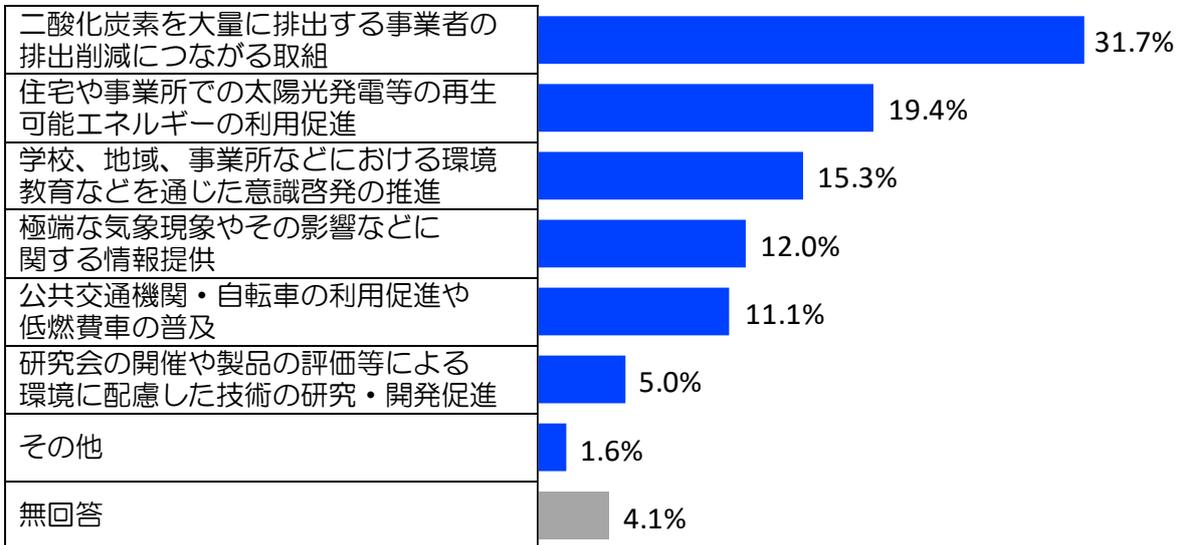
「A に近い」(14.2%)と「どちらかといえば A に近い」(22.6%)を合計した【A に近い】が 36.8%、「どちらかといえば B に近い」(37.7%)と「B に近い」(24.3%)を合計した【B に近い】が 62.1%と、【B に近い】と回答した人の方が多かった。

5 川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策

今後、あなたが川崎市に一番取り組んでほしい地球温暖化対策は何ですか。

図 13 川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策

(n=1,653)



「二酸化炭素を大量に排出する事業者の排出削減につながる取組」が 31.7%と最も多く、次いで「住宅や事業所での太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用促進」(19.4%)、「学校、地域、事業所などにおける環境教育などを通じた意識啓発の推進」(15.3%)と続いている。

6 かわさきの農業について

1 都市農業に対する関心度

あなたは都市農業（市街地など都市部で営まれる農業）に関心がありますか。

図 14 都市農業に対する関心度

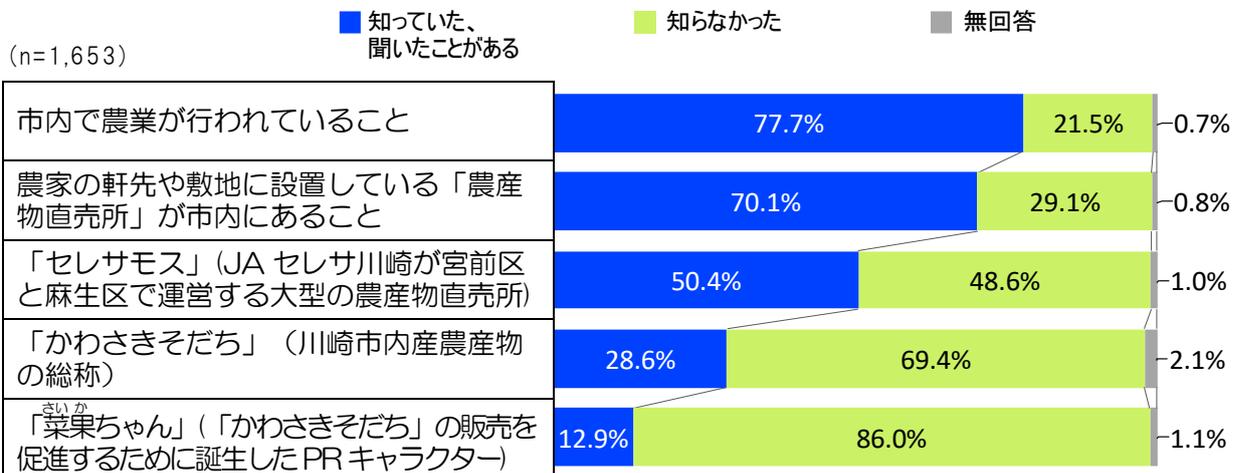


「とても関心がある」(13.1%)と「どちらかといえば関心がある」(42.0%)を合計した【関心がある】は 55.1%であり、「どちらかといえば関心がない」(34.1%)と「全く関心がない」(9.0%)を合計した【関心がない】は 43.1%であった。

2 かわさきの農業についての認知

あなたは、かわさきの農業について、次の項目を知っていますか。

図 15 かわさきの農業についての認知



「市内で農業が行われていること」と「農家の軒先や敷地に設置している「農産物直売所」が市内にあること」の2項目では「知っていた、聞いたことがある」が7割を超えているが、「「菜果ちゃん」(「かわさきそだち」の販売を促進するために誕生したPRキャラクター)」は1割強であった。



3 市内産農産物の購入経験

あなたは、市内産農産物(野菜・果物・花など)を購入したことはありますか。

図 16 市内産農産物の購入経験

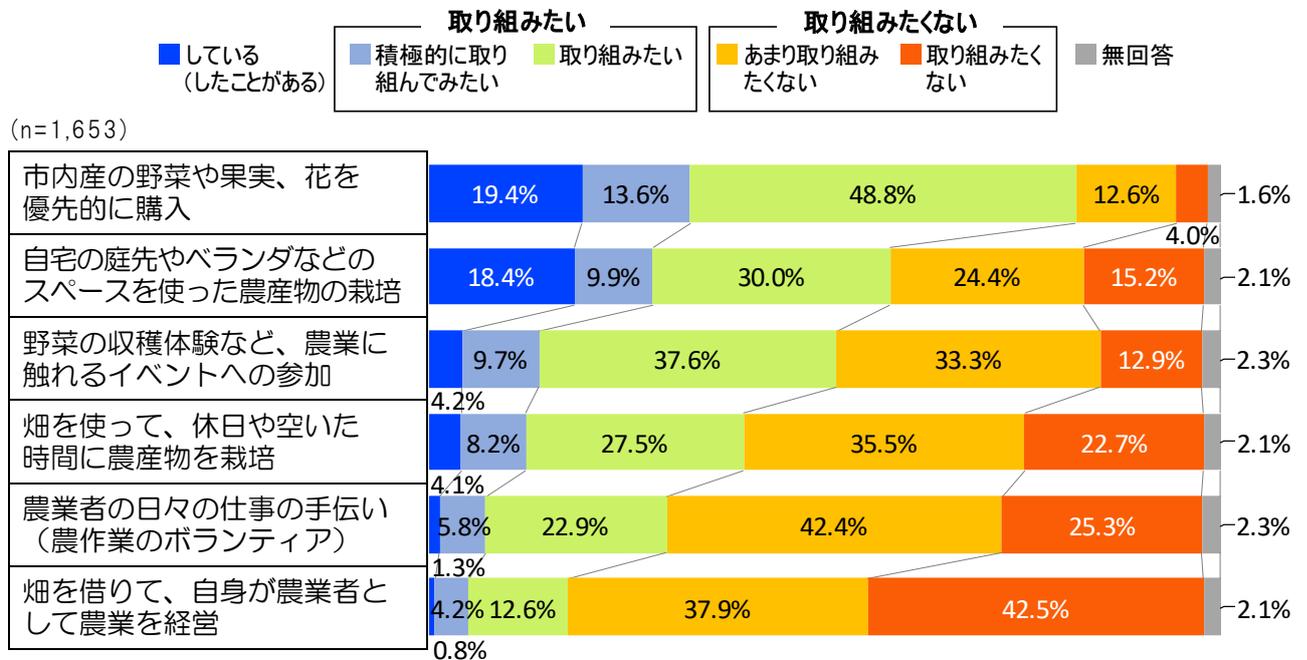


「ある」が47.7%、「ない」が49.8%であった。

4 「農に関わる取組」の実施状況・実施意向

あなたは、自分の暮らしの中で、どのような形で「農に関わる取組」をしていますか。していない場合は、どの程度してみたいと思いますか。

図 17 「農に関わる取組」の実施状況・実施意向



「している(したことがある)」は、「市内産の野菜や果実、花を優先的に購入」(19.4%)と「自宅の庭先やベランダなどのスペースを使った農産物の栽培」(18.4%)の2項目以外は5%を下回っている。

「積極的に取り組んでみたい」と「取り組みたい」を合計した【取り組みたい】は、「市内産の野菜や果実、花を優先的に購入」(62.4%)が最も多く、次いで「野菜の収穫体験など、農業に触れるイベントへの参加」(47.2%)、「自宅の庭先やベランダなどのスペースを使った農産物の栽培」(39.9%)と続いている。

「あまり取り組みたくない」と「取り組みたくない」を合計した【取り組みたくない】は、「畑を借りて、自身が農業者として農業を経営」(80.4%)が最も多く、次いで「農業者の日々の仕事の手伝い(農作業のボランティア)」(67.7%)、「畑を使って、休日や空いた時間に農産物を栽培」(58.3%)と続いている。

令和2(2020)年度第2回かわさき市民アンケート概要版
令和3(2021)年3月

発行 川崎市総務企画局都市政策部企画調整課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
電話 044-200-2148(直通) FAX 044-200-0401